

CSR報告書2018

社会から信頼・共感される企業をめざして



冬の山上公園

もくじ

1. 会社概要／製品概要	2
1-1. 会社概要	
1-2. 製品概要	
1-3. トピックス	
2. 社長メッセージ	4
3. デンソートリムのCSR	5
3-1. 基本的な考え方	
3-2. デンソーグループ企業行動宣言	
3-3. デンソーグループ社員行動指針	
3-4. デンソーグループスピリット	
4. 社会性報告	7
4-1. お客さまとともに	
4-2. 社員とともに	
4-3. 地域・社会とともに	
5. 環境報告	19
5-1. 環境方針	
5-2. 環境監査体制	
5-3. 環境推進体制	
5-4. 環境行動計画	
5-5. 法規順守状況	
5-6. 生産環境負荷削減	
5-7. 環境活動状況まとめ	
6. 製品を通じた社会貢献	23
編集後記	24

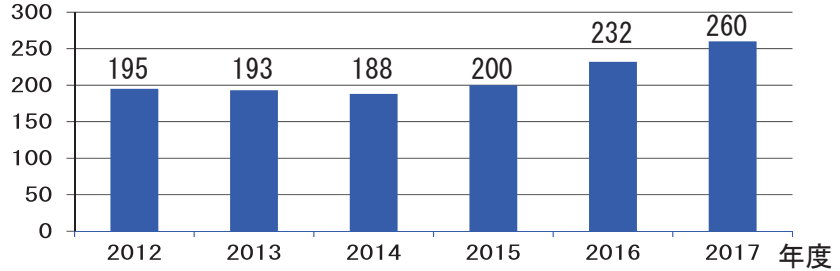
※新たに実施した項目や新規製品には、**NEW** が付いています。

1. 会社概要／製品概要

1-1. 会社概要

社名	デンソートリム株式会社
所在地	みえけんみえぐんこものちょうおおごほらあかさか 三重県三重郡菟野町大強原赤坂2460
設立	1990年3月30日
代表取締役社長	取締役社長 山下洋一
資本金	3億1千万円
従業員数	702名(2018年3月末現在)
売上高	

単位:億円

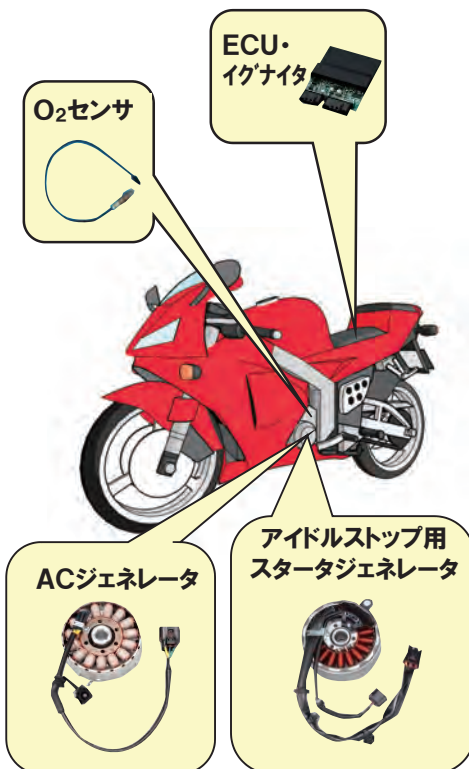


1-2. 製品概要

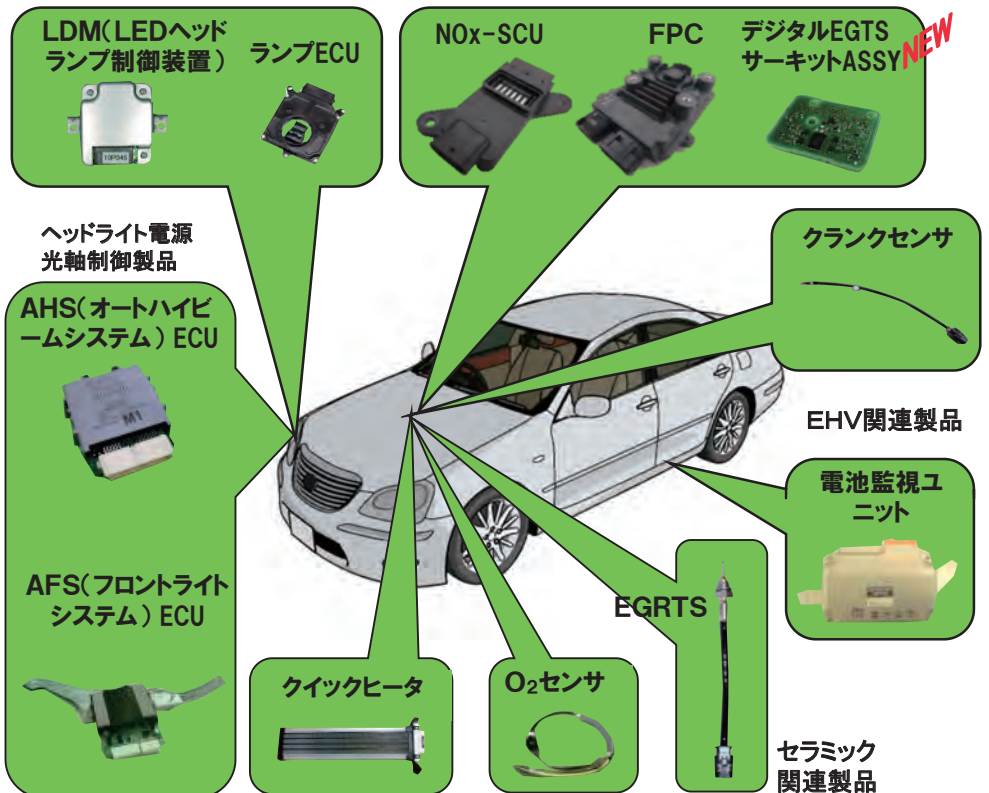
デンソートリム設立のきっかけとなった二輪車用ACジェネレータ（交流発電機）は、会社設立以来つくり続けており、研究・開発から製造まで一貫体制で生産しています。

現在では「エンジンECU・ランプECU・ハイブリッド車用制御装置」などの電子製品や「O₂センサ」などのセラミック製品も担当し、二輪車・四輪車などに欠かせない製品を生産しています。

<二輪製品>



<四輪製品>



1-3. トピックス

(1) 世界初製品「アルミ線ACG」の開発 **NEW**

当社は世界初製品となるアルミ線ACGを開発しました。アルミ線ACGは、二輪車用発電機のACジェネレータにおいて、コイル材質に従来の銅線より軽量なアルミ線を採用した製品です。主にASEAN地域の主力二輪車に搭載されます。



祝賀会（2月）

(2) 電池監視ユニット累計生産1千万台達成 **NEW**

2005年より当社で生産を開始した電池監視ユニットが、2017年3月に累計生産1千万台を達成しました。トヨタ向けのハイブリッド車に搭載されている製品です。



祝賀会（3月）

(3) 技術棟完成 **NEW**

2017年9月より敷地南東にて新築工事を進めてきた技術棟が2018年3月に完成しました。技術棟は2階建てで総床面積は1800平米、1階に実験・耐久設備、2階に設計・デバッグ室を設置します。

技術棟の新築により、現在社屋内に点在している設計・開発機能を1カ所に集約して設計業務の効率化を図ります。



技術棟全景

(4) 桜まつり開催 **NEW**

敷地内の桜並木の開花にあわせ、春の訪れを皆で感じようとトリム初の試みとなる「桜まつり」を開催しました。まつり当日は桜の開花が間に合わなかったものの好天に恵まれ、心地よい春の陽気のもと想定以上に多くの従業員やその家族と地域の方に来場いただきました。催し物は、喫食コーナーや施設点検用ドローンのデモンストレーション飛行、地元のトヨタ系販売店様の新車展示会や三重大学ジャグリングサークルによるパフォーマンスなどを開催し、どれもたくさんの人に参加いただき大変盛況なイベントになりました。



2. 社長メッセージ

デンソートリムはデンソーグループの一員として自動車産業で二輪点火製品の開発～生産、四輪エンジンコンポーネント製品の生産、四輪電子製品の生産の3つの事業を担っており、これらの事業を通じて「地球環境の維持」と「安心・安全に暮らせる社会づくり」に向けて全力で取り組んでいます。



2017年に2025年の会社の目指す姿を

- ①デンソーの二輪事業を担う会社として世界一企業になる
- ②二輪を核として3つの事業、3つの機能で持続的成長を図る

と定め、これを達成する為のスローガンを「技術と技能と感性を磨きお客様に喜ばれるモノづくり」としました。

そしてこれらの事業活動を進めていく基盤となるのが、CSR（企業の社会的責任）のレベルアップ活動であり、ステークホルダーの皆様の声を経営に活かしていきたいと思えます。

2017年度の活動の一部を紹介しますと、工場の活動として三重県初の厚生労働省認定を取得した「社内技能検定制度」を発足させ、社員の技能の磨き上げ・努力を評価すると共に向上意欲を高めることができ、社員の活動として交通事故特に飲酒運転防止の目的で「飲酒運転根絶宣言書」を四日市西警察署長へ提出して責任と役割を認識すると共にマスコミを通じて広く社会に意識向上を呼びかけることができたと言えます。

また製品の活動として、「技術棟」を竣工し二輪車のFI化やアイドルストップ等に携わる技術者を集結させ地球環境に優しい製品開発を加速したり、ハイブリッド車用のニッケル電池監視ユニットの生産累計が1000万台を達成しハイブリッド車の拡大に貢献することができました。

長期構想の2025年に向けて、今年は自動車業界ではパラダイムシフトが起こりつつある大事な節目の時期を迎え、今後もCSR活動を更に活性化し、社員一人ひとりが社会貢献の意識を高め、長期方針の目指す姿の実現に向け、積極的に活動を続けていきます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2018年9月

デンソートリム株式会社

取締役社長 山下洋一



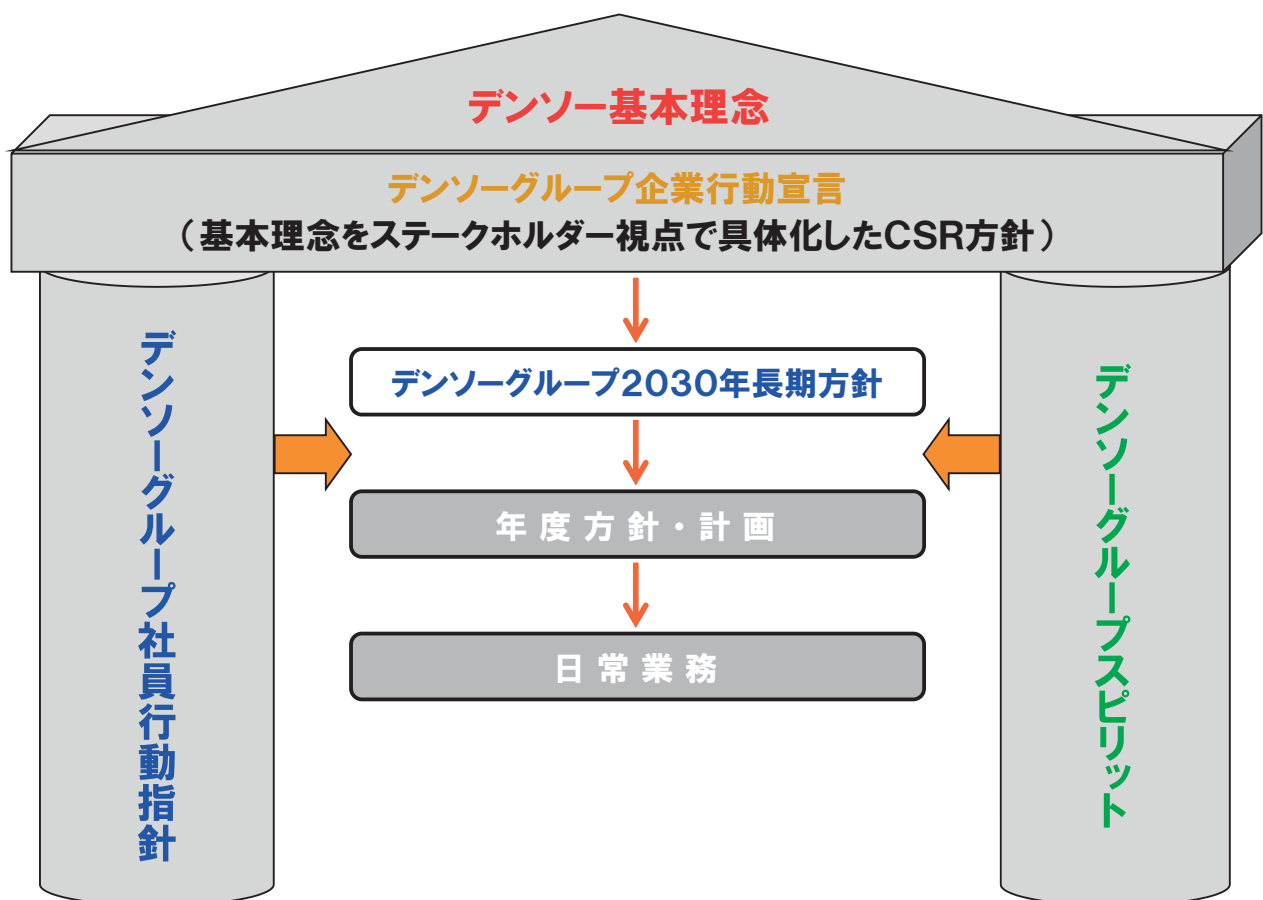
3. デンソートリムのCSR

3-1. 基本的な考え方

デンソーグループは、基本理念の中で「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」ことを使命として掲げています。これを実現するには、多くのステークホルダーと価値観を共有しながら連携・協力していくことが不可欠であり、その基盤となるのが「社会から信頼・共感される企業行動」です。これを世界中で事業活動を行うグループ会社が実践していくため、2006年4月、「デンソーグループ企業行動宣言」を策定しステークホルダーへの責任を明らかにしました。

以来、CSR（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility）を経営の中核に据え、事業活動を通じた持続可能な社会づくりへの貢献に取り組んでいます。

そして、2017年に策定された長期経営方針「デンソーグループ2030年長期方針」を受け、私たちデンソートリムはデンソーグループの一翼を担う企業として、デンソーグループ企業行動指針に基づき、計画と目標を立ててCSR活動を推進しています。



3-2. デンソーグループ企業行動宣言

【宣言文】（抜粋）

私たちは、社会の持続的な発展に率先して貢献します。

- (1) 各国・地域の文化・歴史を尊重して、経営トップのリーダーシップのもと、人を大切にする誠実な経営に努め、ステークホルダーに信頼される企業行動を実践します。
- (2) 法令とその精神を遵守して倫理的行動に努めるとともに、オープンでフェアな情報開示と対話に努めます。
- (3) 変化を先取りして、新しい価値の創造にチャレンジします。そして、現地現物を重視しカイゼンに努めて最高の品質を実現します。
- (4) コミュニケーション、チームワークを大切にして、人材の育成に努めます。

3-3. デンソーグループ社員行動指針

「デンソーグループ企業行動宣言」を実践するため、社員一人ひとりがデンソーグループの一員として、各ステークホルダーにどのような心構えで、どのような行動をとるべきか、そのガイドラインを示したものです。

社員一人ひとりが社会に果たす役割を常に意識し行動するよう、指針の浸透を図っています。

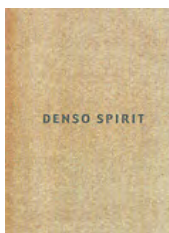


目次

- I. デンソーグループの一員として
- II. 生き生きとした職場をめざして
- III. あらゆるお客様の信頼と期待に応えるために
- IV. 仕入先との共存共栄をめざして
- V. 株主の信頼と期待に応えるために
- VI. 社会と共生するために

3-4. デンソーグループスピリット

真のグローバル企業として成長・発展するため、グループ全体で共有すべき価値観・信念を明示したものです。



企業成長の原動力は「先進」「信頼」「総智・総力」
デンソーグループスピリットは、創業以来、暗黙知として
連綿と継承されてきた「先進」「信頼」「総智・総力」の
考え方を2004年に明文化し、あらゆる分野で取り組み
を推進する原動力として機能するため、17カ国語に翻訳し、
グローバルな共有に注力しています。

4. 社会性報告

4-1. お客さまとともに ー品質ー

品質を支えるのは、人の力。品質第一主義を基本に高品質なモノづくりに努めています。そのために、独自の教育システムを構築して社員教育を推進するとともに、デンソーグループの教育カリキュラムにも参加しています。従業員一人ひとりが必要なスキルを身に付け、お客さまの満足向上につなげています。

(1) 品質保証の基本方針

1. お客様に対する品質第一主義に徹する
2. 仕事の各段階で最初から正しく品質保証する
3. 全員参加による品質管理を推進する

(2) 社員教育

①わかば道場（社内教育訓練道場）

新入社員の導入教育において、座学（OFF-JT）と訓練（OJT）を融合し、モノづくりに対する考え方を習得します。また、新入社員だけでなく、中堅・職制の教育、更に国家検定練習の場とし、人材育成に活用しています。



②階層別教育・職能別教育（全社的に推進する教育）

目指す人材は、「自ら学び、自ら考え、挑戦し続ける人材」とし教育をしています。特に、グローバル対応力強化の為のメニュー作りを強化しています。

階層別教育：役職階層及び管理推進業務指名者に必要な役割意識、意欲の向上
管理手法の習得を図る教育

職能別教育：各職能に必要な専門知識・能力向上を図る教育

	階層別教育		職能別教育		
	マネジメント	グローバル	事務分会	技術分会	技能分会
管理職	<ul style="list-style-type: none"> ・TQC ・課題形成能力向上 ・コーチング ・MBC 	<ul style="list-style-type: none"> ・出向者の役割 ・海外人事管理 ・地域スタディ ・現地語教育 		<ul style="list-style-type: none"> ・新任課長特許・品質 	<ul style="list-style-type: none"> ・異常処置認定 ・特殊工程講師
指導級	<ul style="list-style-type: none"> ・課長安全教育 ・5等級研修 ・リーダーシップ ・班長(倫理機密) 	<ul style="list-style-type: none"> ・Gコミュニケーション ・マネジメント勉強会 ・工場マネジメント ・人事労務管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産管理製品2級 	<ul style="list-style-type: none"> ・新任係長品質 	<ul style="list-style-type: none"> ・高度技能研修(デンソー) ・新任班長環境教育 ・TIE上級
中級	<ul style="list-style-type: none"> ・課題発表 ・仕事の教え方 ・人の扱い方 ・中堅社員 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外経験者講演会 	<ul style="list-style-type: none"> ・原価計算 ・法務 ・海外事業概要 ・生産管理製品1級 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術検定 ・実験計画法 ・品質管理 ・生産技術中級 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家技能検定 ・オペレータ研修 ・C級計測器 ・安全・衛生、資格
初級	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決 ・働く心構え ・仕事の進め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己啓発「英会話」 ・自己啓発「英文筆記」(初級～管理職) 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品知識 ・業界知識 ・原価基礎 ・TIE基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修 ・特許・基礎技術 ・原価と原価管理 ・製品知識 	<ul style="list-style-type: none"> ・PMの基礎 ・異常処置対応認定 ・初級品質管理 ・TIE物の流し方

③QCサークル

創業時より活動しているQCサークルはサークルメンバーの能力向上・自己表現、明るく活気に満ちた生きがいのある職場づくり、お客さま満足の向上及び社会への貢献をめざしています。

2017年度は、77サークル計552名がQC手法を活用し、管理・改善に取り組みました。その結果、(株)デンソー主催「ACTIVE QCサークル発表会」にて金賞を受賞することができました。



ACTIVE QCサークル表彰式の様子

④社内技能検定（厚生労働省認定）

当社では、高度技能集団企業を目指し社内検定制度を整えました。

当社のモノづくりに必要な技能課題を4つ選びだし、それぞれの課題に合格となった社員を製品製造装置オペレーターとして資格認定する仕組みです。

これにより社員の技能を切磋琢磨し継続的に高めて行こうとしています。

この制度は、厚生労働省より特に技能振興上奨励すべきものとして認定され「厚生労働省社内検定認定制度」に登録されました。

これは制度改正後、第二号となるもので、三重県では第一号となるものです。

2017年度の検定では1級・2級の各級の試験で最も優秀な成績を収めた1名を、社内検定最優秀者として表彰しました。



検定受検の様子



厚生労働省認定記念写真

⑤女性キャリアアップ講習 **NEW**

11月20・27日、技能職の中堅2級職22名を対象に女性活躍支援の一環となる講習会を開催しました。参加者は講習後のグループ討議で、それぞれの働き方の選択肢の中で何を目指していくのかについて本音で話し合いました。



4-2. 社員とともに

(1) コミュニケーション

① 全社朝礼

毎月第一稼働日に全社員が集まって全社朝礼を開催しています。社長と部長以上の職制1人から社員に向けた講話を行なうことに加え、優れた成果を収めた社員の各種表彰も行なっています。

また、当日夜勤の方や聴覚障がい者の方々にも朝礼内容を伝えるべく、全社朝礼ダイジェストを作成し、各職場での展開を実施しています。



全社朝礼（4月）

② 社員親睦

より良い職場環境を築くには、社員相互の豊かなコミュニケーションが不可欠と考え、社員同士の親睦を図る場を積極的に設けています。一例として、新入社員歓迎企画の開催や、デンソー大安製作所での大運動会への参加、社内球技大会の開催などを行っています。



運動会（6月）



新入社員歓迎企画・ボーリング大会（4月）



球技大会（11月）

③ 元気プロジェクト

2016年4月より「お客様から信頼され、従業員が誇りに思える、明るく・楽しく・元気な会社」を目指す、元気プロジェクト活動を開始しました。活動に自主的に参加している社員とともに、様々な取り組みを行っています。

活動2年目となる2017年度は、桜まつりの開催（4月）デンソー大安地区運動会への参加（5月）、デンソーグループグリーンカーテンコンテスト参加（6～9月）七夕飾りコンテスト（7月）、BBQイベント（9月）ハロウィンイベント（10月）、手作り門松設置（12月）クリスマスイベント（12月）、従業員感謝メッセージ・草もち配付（12月）など、初年度以上多くの活動を行いました。

今後も当社が明るく元気な会社となれるよう、活動を推進していきます。



BBQイベント



従業員感謝メッセージ・草もち配付

④新成人を祝う会

新成人として晴れて大人の仲間入りをされた皆さんを祝う会を社内で開催しています。社長・役員からのお祝いの言葉に続いて、新成人が生まれた頃の出来事や、新成人の意識調査を紹介しながら新成人の皆さんに抱負やチャレンジしたいことを語っていただきました。はつらつとした新成人の皆さんのお話と笑顔に会場は和やかな祝福ムードに包まれました。



新成人の皆さん（1月）

⑤グリーンカーテン・コンテスト

デンソーグループでは、6月の「環境月間」に合わせ環境にちなんだ各種行事を展開しており、その一環として「デンソーグループ・グリーンカーテンコンテスト」を、開催しています。ゴーヤ部門とフリー植物部門の2部門で一株あたりの面積及び収穫量・出来栄えと取り組み内容を基準にグループ会社で競います。また当社内でも、社員（家族を含む）が栽培しているグリーンカーテンなどを対象として、グリーンフォトコンテストを開催しています。2017年度からは、より気軽に参加できるようにこれまで対象となっていなかった家庭園芸や家庭菜園も対象に加えました。審査基準は栽培面積や収穫量、ユニークさ・エレガントさ等を総合的に判断しています。



当社のグリーンカーテン



社内グリーンフォトコンテスト
グランプリ作品

⑥ファミリーオープンハウスデー

社員のご家族の皆さんに、会社施策への理解を深めていただくとともに、社員とご家族のコミュニケーションの充実を目的として社内を見学していただく「ファミリーオープンハウスデー」を開催しています。学校の夏休みに合わせて実施し、職場見学に加え、お子様に「モノづくり」に興味をもってもらえるよう、「モノづくり体験」も実施しています。2017年度は9家族22名に参加いただきお子様からは「お父さんの職業の詳しいことがわかった。」「モノづくりの仕方の説明が、わかり易くて良かった。」参加した社員からは「とても楽しめ、コミュニケーションをとるきっかけになった。」等の感想があり好評でした。



(2) 社外表彰

① 文部科学大臣表彰「創意工夫功労者賞」6年連続受賞

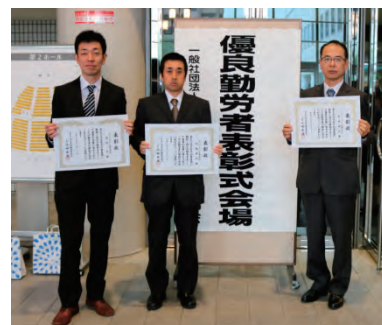
創意工夫功労者賞とは、文部科学省が各企業において現場で実際に創意工夫し振興の基盤づくりに貢献している者を表彰する制度です。2017年当社が推薦した2件が本賞を受賞しました。これは当社が「現状のやり方に固執せず絶え間ない改善を実践する」というデンソーグループスピリットを実践していることによるものです。これからも、全社一丸となって製品の品質向上は勿論、改善活動の活性化に努め継続して受賞者を輩出できるよう、日々愚直にモノづくりに取り組んでまいります。



受賞した岡山 卓也さん、佐野 寛幸さん

② 優良勤労者表彰

2017年11月、当社社員3名が四日市労働基準協会より優良勤労者として表彰されました。これは永年勤続とその業績（具体的には、品質管理に熱心に取り組み品質の安定、向上に大きく寄与し他の模範として、企業発展に貢献していること）を評価されたものです。



表彰された佐野 弘さん、加藤 嘉治さん、宮本 誠司さん

③ (株) デンソー E F 活動報告会最優秀賞受賞 **NEW**

2018年2月6日から3月2日にかけて、2017年度 E F 活動報告会が開催されました。E F 活動とは、デンソーグループが世界での厳しい競争に勝ち残るため、品質やコスト競争力のある優秀な工場、すなわちExcellent Factoryの実現を目指し、工場が中心となり全員参加で行う改善活動です。当社では、当社が目指すダントツ工場（文字通りダントツの競争力でモノづくりができる工場）を実現すべく、E F 活動を進化させる取り組みを推進しており、全部署一丸で、技術と技能の両輪から改善活動を行っています。報告会では、新工法開発や徹底した作業改善により三割以上の原価低減を達成したことなどを高く評価され、最優秀賞を受賞することができました。今後も更なるレベルアップを目指していきます。



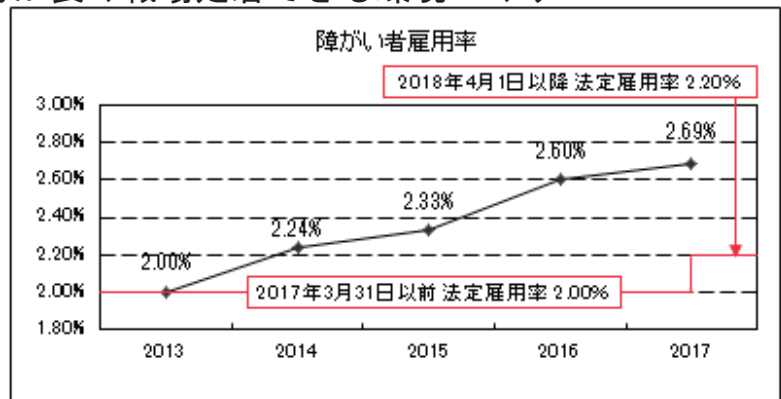
報告会の様子

(3) 多様な人々が活躍できる職場づくり

①障がい者雇用

— 在籍している障がい者の方が長く職場定着できる環境づくり —

取組みの一環で、聴覚障がい者の方同士の横の繋がりを持つ場として、聴覚障がい者だけの懇親会を定期的に開催し、そこで会社・職場への要望等も確認・対応しています。



②ワークライフバランスの支援

当社では、多様なライフスタイルの社員にとって働きやすい会社となるため仕事と私生活の両面を支援するための柔軟な制度を整備しています。

- i 育児中も仕事を続けられるように、法定以上の休職制度勤務体系を整備しています。
 - ・ 育児休職：子が2歳に達するまで（法律は1歳6カ月まで）
 - ・ 短時間勤務：子が小学校に入学するまで（法律は3歳に達するまで）
 - ・ 時間外労働免除：子が小学校に入学するまで（法律は3歳に達するまで）
- ii より柔軟にフレックス勤務の活用を促すために、朝方勤務を実施しました。始業時間を1時間繰り上げ、脱夜型勤務を狙うものです。
- iii 半日有給休暇の月間取得回数を月2回から4回取得可能としました。

育児短時間勤務制度（9:30～16:30）利用者の声

私は一人目、二人目と育児休暇を続けて取得した後、初めて時短制度を利用しました。小さい子供二人と4年ぶりの職場復帰、家事との両立、不安しかありませんでしたがこの制度があることで不安は半分ほどになりました。実際利用してみてもやはり体への負担、精神的負担はかなり軽減されると実感しています。今後もこの制度を多くの方が利用し女性の活躍の場が広がると嬉しいです。



製造技術課 中村さん

③高年者の活動支援

当社では、高年者の豊かな経験と能力の発揮、および本人の働きがいの支援に向けて、社員のライフプランに合わせた多様な働き方・生き方を支援する施策を整備しています。

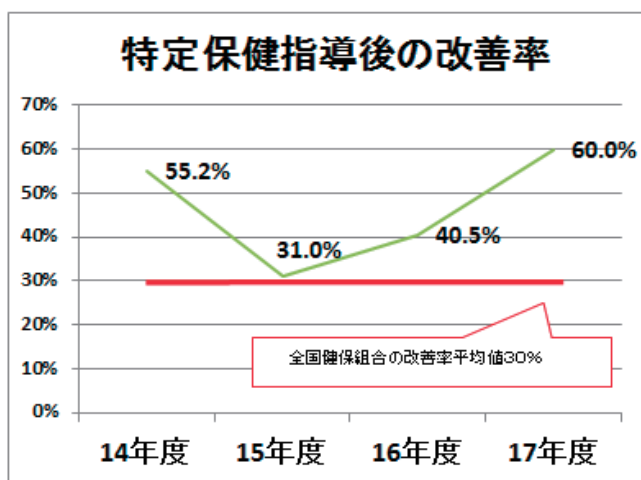
- i ライフマネジメント研修（定年後の生きがい、健康、生活設計を50歳で考える）
- ii 振り返り研修（ライフマネジメント研修受講後5年で、生活設計を再度考える）
- iii ネクステージ面談（定年後の働き方を55歳から上司との面談を通じて考える）

(4) こころとからだの健康管理

当社では、社員の心身両面の健康づくりを進めています。増加傾向にある生活習慣病（高脂血症・高血圧・糖尿病など）の予防としては、特定保険指導の対象者に対して、食生活の改善と運動習慣の定着に向けた教育指導を半年間継続実施。また仕事でストレスを感じる勤労者が増加しているなか予防・再発防止を図るべく、メンタルヘルスケア体制充実や管理者教育などに取り組んでいます。

2015年度より喫煙・受動喫煙抑制に向け、喫煙時間の制限をする日（禁煙デーの設定）を設けたり、屋内喫煙所を順次閉鎖し、屋外喫煙所の設置を計画に沿って進めています。また労働過多者に対して健康診断（長時間労働の抑制）や有休取得管理の徹底をするため毎月の合同職制会の中で各部署の有休取得率の展開をするなど働き方の改善指導を継続的に行っています。

特定保健指導（対象40歳以上）



喫煙 受動喫煙抑制 喫煙対策

【活動実績および今後の計画】

		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
全社一斉禁煙タイム		午前・午後1回喫煙ルール導入	禁煙デーの禁煙タイム導入	ワークタイム禁煙【昼休みのみ喫煙】		
建屋内完全禁煙	屋外喫煙所設置	北駐輪場横喫煙所	北・来客喫煙所	南喫煙所		
	屋内喫煙所閉鎖	2階事務所	1階北中央・ロビー	2階南・1階北・耐久棟	2階北	建屋内完全禁煙
卒煙支援	タバコ社内販売	販売中止				

(5) 安全な職場づくり

「安全は全てのものに優先する」を合い言葉に、経営層による安全巡回、安全サークル活動、職場安全診断を始めとする物的対策・啓蒙活動を地道に気を緩めることなく継続しており、操業以来「休業災害以上0」を継続し2016年1月18日に第四種無災害記録（2,370万時間）を達成しました。

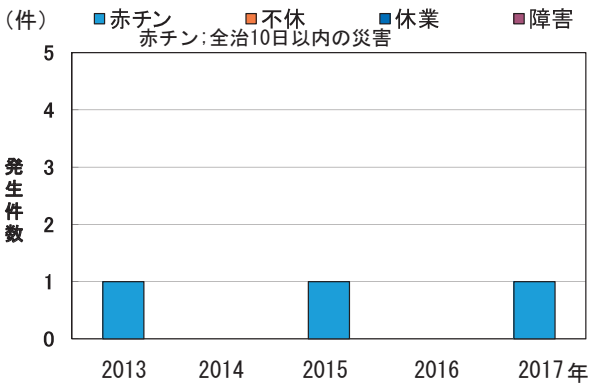
①安全指標（17年度）

管理項目	目標	実績	評価
重大災害	0件	0件	○
休業度数率	0	0	○
出火事故	0件	0件	○
職業性疾病	0件	0件	○

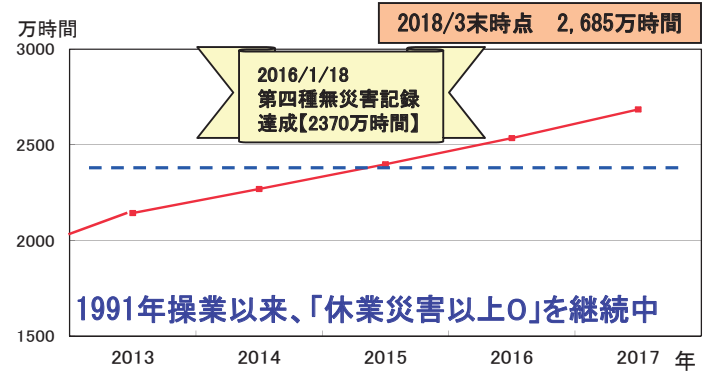
②安全施策

	13年	14年	15年	16年	17年
自発的に安全行動できる意識の浸透	3S 対話3-3 安全日めくりカレンダー安全・歩行5訓の徹底				
	安全基本行動の教え込み				
リスク先取りによる重大災害防止対策強化	班長安全宣言				
	公開段取 トップ層による確認				
	トップ安全・5S診断・環境重要設備巡回				
	重大リスク低減安全対策 フォークリフト / 大型開口部 / 成形機 / クレーン / ローラ点検 安全装置無効化防止対策 いじり防止ネジ装着				
マネジメントの強化	OSHMS全社活動(リスクアセスメント) / 化学物質強化				
	異常処置認定教育				

③災害発生状況



④無災害時間（休業以上）



今後も愚直に安全活動に取り組み「災害ゼロ」を目指します

(6) 防災（震災への備え）

東日本大災害での教訓を踏まえて、デンソーグループでは「震災リスク対応」の見直しを進めています。

当社では、全社員が災害発生時に自発的に初期活動や救命活動できるようにするために、2014年度より菰野消防の指導に基づき各職場防災リーダーを育成し、社内で「消火器・消火栓訓練と救命AED講習」を実施しております。2016年度からは社内で防災リーダーの育成ができるように、「公的資格（応急手当普及員）を取得した社員が職場防災リーダーの育成をする体制」を整備しました。育成された職場防災リーダーは、社内講師として全社員対象に「消火器・消火栓訓練と救命AED講習」を実施して、社員一人ひとりの防災に対する能力向上を行っています。17年度には迅速な災害対応を行う為に防災備蓄倉庫（コンテナ）を新たに設置しました。

さらには地域との連携を強化するため、当社社員が地域防災訓練に毎年参加しています。17年度の地域防災訓練では広域避難所である鶉川原小学校における避難訓練に参加しました。また16年度の豪雪対応への反省（会社駐車場積雪により会社前道路の渋滞発生など）から雪害対策マニュアルを作成し、除雪機の導入等を進め18年1月の積雪対応にあたりました。

防災対応資格	社内の役割	2017年度
応急手当普及員	自衛防災隊各班班長	12名
普通救命講習受講者	各職場防災リーダー	45名



地域防災訓練参加



雪害対応



防災備蓄倉庫設置

日頃から訓練をし、震災へ備え、全社員がスキルアップをめざします。

4-3. 地域・社会とともに

(1) 地域との対話を深める懇談会開催

当社では年に1度、地元の代表の方々と菰野町役場の方を会社にお招きして「トリムの最近の事業活動や環境活動への取り組み状況」をご説明しご理解いただくと共に、地元の皆様からは会社に対しご意見・ご要望をお寄せいただいています。

2017年度は、11月に菰野町役場から2名、地元池底区・大強原区から6名、計8名の皆様に参加いただき、環境取り組み体制や環境データの測定結果（工場排水の水質・敷地境界の騒音振動レベル）等を説明し、工場もご視察いただきました。懇談の場では、年4回実施しているゴミゼロ活動や、地域社会に貢献する交通安全活動の一環として2015年から取り組んでいる「カーブミラー清掃」に感謝の言葉をいただきました。当社では今後とも、地域社会の一員として地元行事などに積極的に参加すると共に、情報公開を推進し、周辺住民の方々や行政機関との対話を図ってまいります。

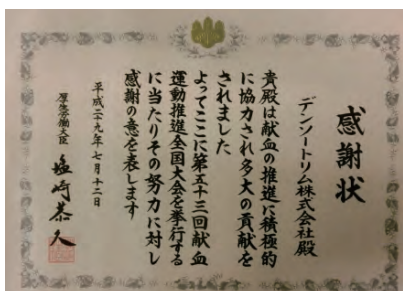


(2) ボランティア活動

地域社会の一員として、「私たちがお世話になっている地域の環境保全活動に少しでも協力しよう」と会社周辺の環境美化活動を定期的に行っています。当社では、この活動を「デンソーグループ・ハートフルデー」の取り組みとして、今後も大切にしていきたいです。

① 厚生労働大臣より感謝状授与（献血活動）^{NEW}

私たちの血液で命を救うことを実践するために、1995年より社内で献血活動を平日の勤務時間内に年2回（春・秋）実施しています。この長年の献血活動の継続を評価いただき、2017年8月に献血の推進に寄与した事業所として、厚生労働大臣より感謝状をいただきました。当社は今後も献血活動を積極的に推進していきます。



感謝状（厚生労働大臣より）

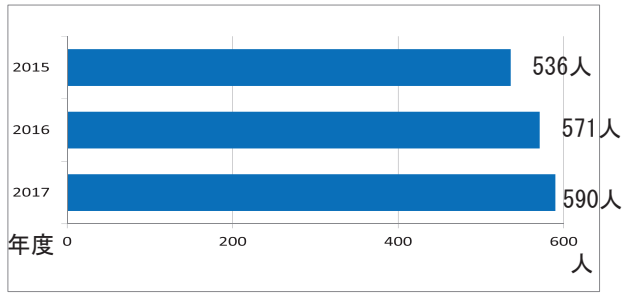


献血活動の様子



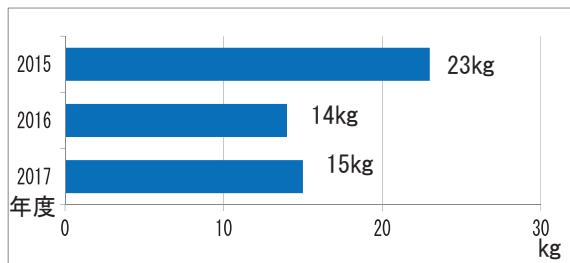
② ゴミゼロ活動(年4回;1996年～)

ゴミをなくして、綺麗な街並にするために、社員本人だけでなく、その家族も一緒に参加し清掃活動を行っています。



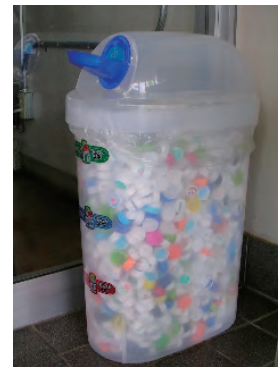
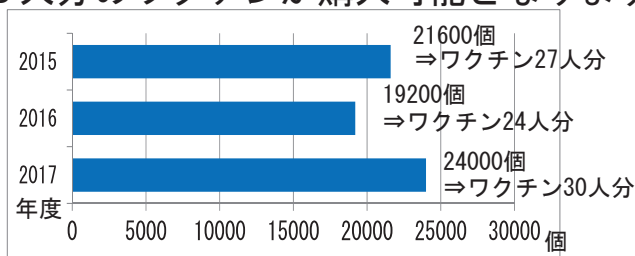
③ 空き缶のプルトップ収集 (2009年～)

障がいのある子供たちに車いすを贈るためにプルトップ収集を続けています。自販機に収集箱を設置し活動をし、気軽にボランティアができるようにしています。約200kgのプルトップで車いす1台が贈れます。



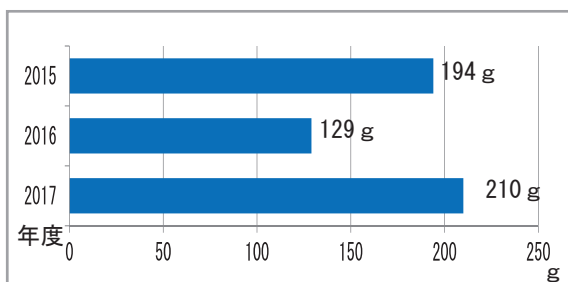
④ ペットボトルのキャップ収集 (2010年～)

世界の子供をワクチンで病気から救うために、ペットボトルキャップを収集しています。工場と技術棟入口に収集BOXを設置し、確実に回収できるようにしています。満杯(2400個)になると3人分のワクチンが購入可能となります。



⑤ 使用済み切手収集 (2013年～)

地域の福祉活動推進に役立てていただくために、使用済み切手を収集しています。菰野町社会福祉協議会を通じて福祉用品を贈っています。



(3) 交通安全活動

当社では、交通安全行動を率先垂範できる社員づくりをめざすとともに、地域社会の交通安全に貢献していくために、様々な活動を行っています。
2017年度には、更なる交通安全意識向上のため交通安全タッチ&コール（交通安全10カ条を毎日朝礼で唱和する活動）を開始しました。
また、全従業員が飲酒運転を絶対にしない・させない・許さないことを宣言し署名した、飲酒運転撲滅宣言書を四日市西警察署に提出しました。

実施項目		内容
社員への交通安全教育	新入社員の通勤経路同乗指導（4月）	免許取得1年未満の新入社員に対し上司による同乗指導を実施
	交通安全懇談会（4月～）	毎月、交通安全に関する資料を提供し、各職場が話し合いを実施
	交通安全タッチ&コール（12月～） <i>NEW</i>	毎日朝礼時に各職場単位で交通安全10カ条の唱和を実施
	交通安全決起大会（8月・12月）	四日市西警察署交通課長を講師に招き全員参加で実施
	ドライブレコーダー映像教育（9月）	社有車搭載のドライブレコーダー映像を使用して教育を実施
	若年層向け社外交通安全講習（11月）	自動車学校の指導で自分自身の運転を見つめ直し、安全運転の意識を高揚
通勤車両管理	西門立哨（月1回）	当社西門にて通勤車両のルール・マナー状況確認し、指導を実施
	通勤車両チェック（随時）	違法な車両が無いか確認を実施
地域活動	ミルミルウェーブ（年2回）	四日市西交通安全協会主催の、街頭立哨にて交通安全の呼びかけを実施
	地域立哨（月1回）	地元地域での街頭立哨にて交通安全の呼びかけを実施（永井交差点にて）



飲酒運転根絶宣言書提出（12月）



地域立哨



交通安全決起大会（12月）

社員一人ひとりが、交通安全行動を率先垂範できるようめざします。

(4) その他の活動

① 高校生の「職業意識形成」支援活動

近隣の高校生が職業への理解を深め、進路選択・決定の一助となるような支援活動を実施しています。

i インターンシップ受入れ (2001年～)
 作業者として3日間程度、生産職場で実習を行ない、製造工程の技能や決め事に触れて、働くことの厳しさ面白さを、体感していただきます。高校生だけでなく、障がい者(生産職場)、大学院生・大学生(技術系職場)のインターンシップ受入も行なっています

ii 工場見学受入れ (2006年～)

生産現場を案内し、仕事内容を説明することで、製造職への理解を深めていただきます。

iii 出前授業 (2007年～)

授業の一つとして、教室や体育館で「就職・働くとは?」というテーマで講義をします。

17年度	内容
9月	出前授業(1年生希望者 54名)
11月	出前授業(1年生全員 160名)
11月	インターンシップ受入(2年生 2名)
11月	インターンシップ受入(2年生 2名)
11月	工場見学受入(1年生 20名)
12月	出前授業(雙学校 41名)
12月	出前授業(2年生 150名)
12月	工場見学受入(2年生 19名)
12月	工場見学受入(2年生 20名)
1月	インターンシップ受入(障がい者 1名)
2月	工場見学受入(2年生 20名)
2月	出前授業(1・2年生希望者 45名)
3月	出前授業(2年生 18名)



工場見学



出前授業

② 鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンへの協賛

菰野町では、「鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン」が開催されており、2017年で第12回大会となります。

当社は第1回から、地元へ協力する為に協賛し応援をしております。また当社社員もエントリーし走っております。

③ 鶉の里まつりへの協賛

鶉川原地区(大強原、下村、川北、池底、吉沢、諏訪)では、毎年「鶉の里まつり」が開催されております。当社では、2010年から地元へ協力するために協賛し応援をしております。



かもしかハーフマラソン (10月)



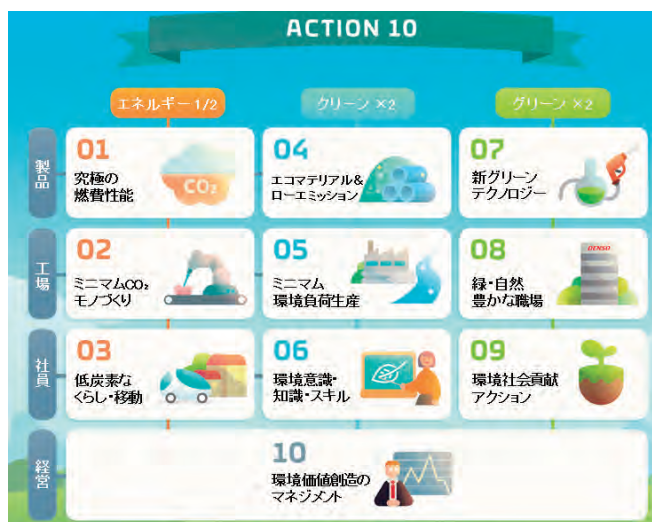
鶉の里まつり (10月)

5. 環境報告

デンソーグループは、「人と地球にやさしいクルマ」の実現を通じて「先進的なクルマ社会の創造」に貢献できる企業グループをめざしています。そのために、製品・生産にとどまらず事業活動のあらゆる分野で環境負荷を削減すると同時に、世界でトップクラスの環境効率や高い資源生産性を追求しています。あわせて、環境保全活動を通じて経済価値を創出する「環境経営」を推進しています。

〔デンソーエコビジョン2025〕

デンソートリムでは2016年から「次の10年」に向けた長期ビジョンである「デンソーエコビジョン2025」に基づき、デンソーグループ全体で「エネルギー1/2(省エネ)」「クリーン×2(環境負荷低減)」「グリーン×2(環境保全)」に取組み、持続可能な社会の実現に向け、積極的に活動を展開しています。



5-1. 環境方針

理念

当社は鈴鹿山系の麓に位置し、緑豊かな環境に恵まれている。この美しい自然を健全な状態で次世代に引き継ぐよう積極的に「環境保全」に努める。

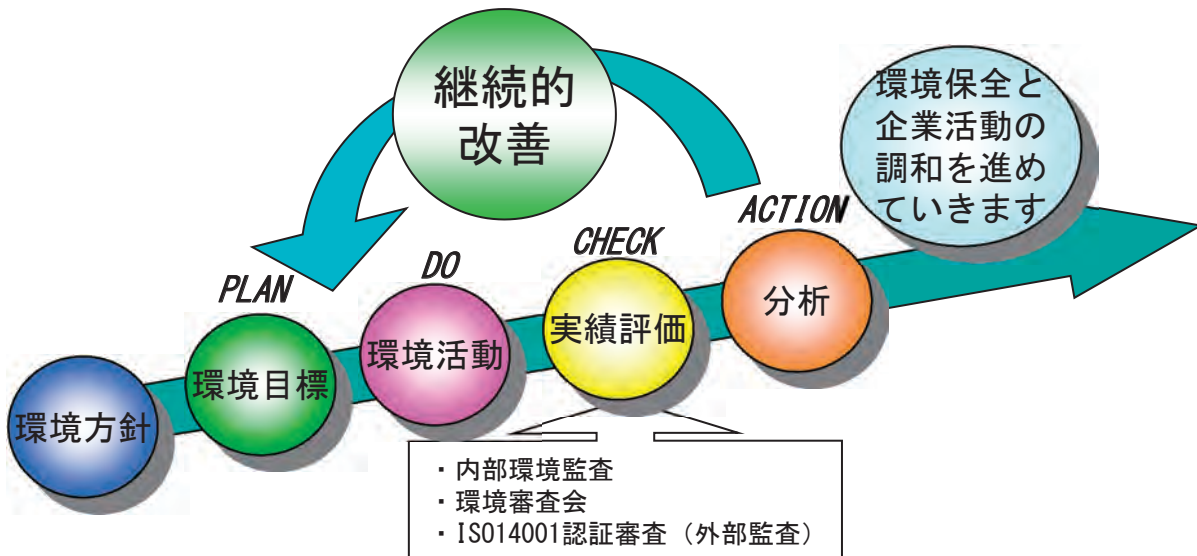
方針 (骨子)

1. 法規順守と環境汚染の予防等により環境の継続的改善に努める。
2. 製品企画段階から排出物及びエネルギーの低減に取り組み、環境負荷を総合的に低減させる。
3. 環境教育・啓蒙活動を通じ、各業務段階で従業員一人ひとりの環境保全意識を高めていく。
4. 地域社会の一員としての自覚と責任をもち、社会との良好な共生関係を築く。
5. この環境方針は社内外へ公開する。

スローガン：「次世代へ引き継ごう、澄んだ空気と豊かな緑」

5-2. 環境監査体制

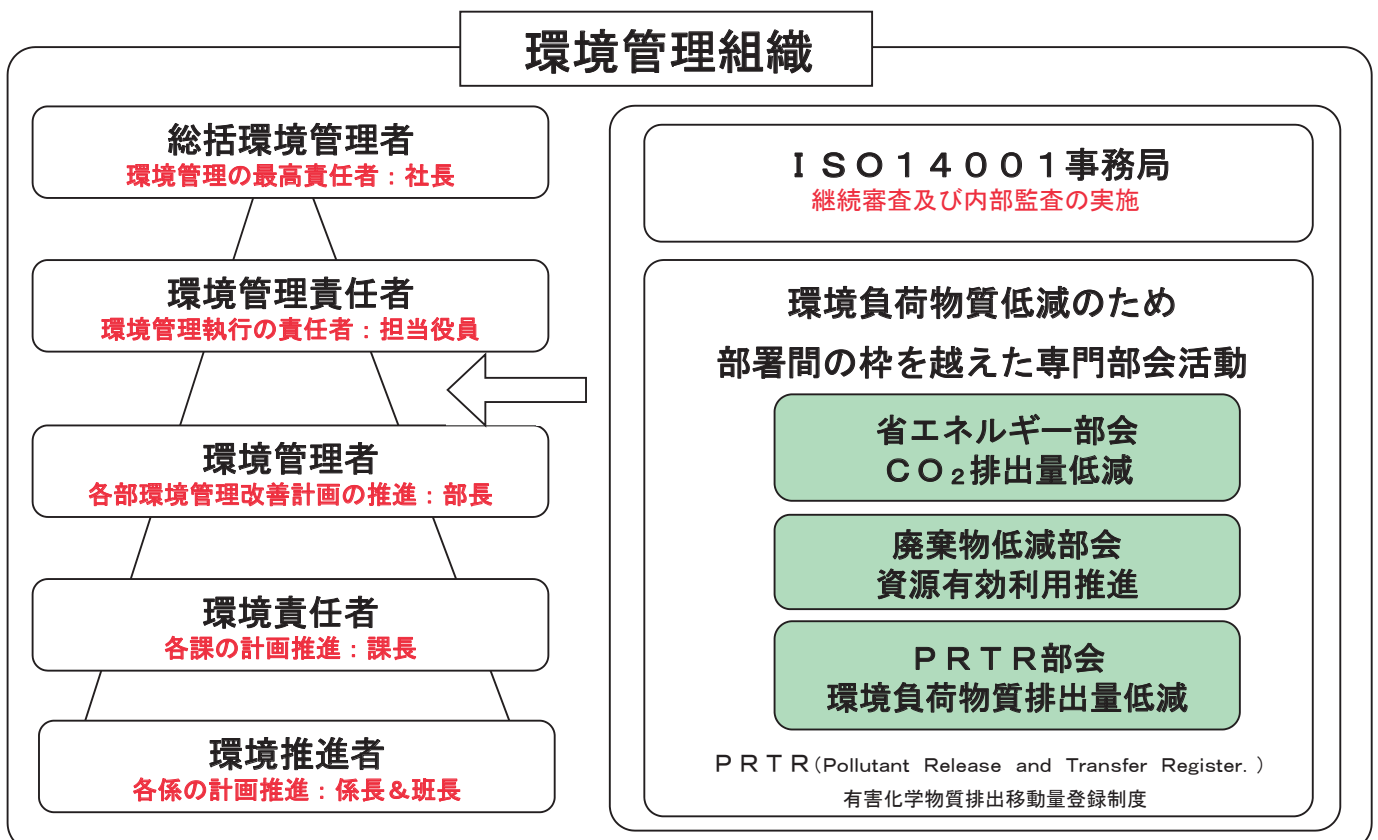
国際規格ISO14001に基づき、「環境マネジメントシステム」を構築しています。



5-3. 環境推進体制

1999年10月に「デンソートリム環境管理組織」を設置し、会社全体として環境問題を審議し、統括する体制を構築しました。

同時に、個別の課題を解決するために「専門部会」を設置し、取り組みの強化を図っています。



5-4. 環境行動計画

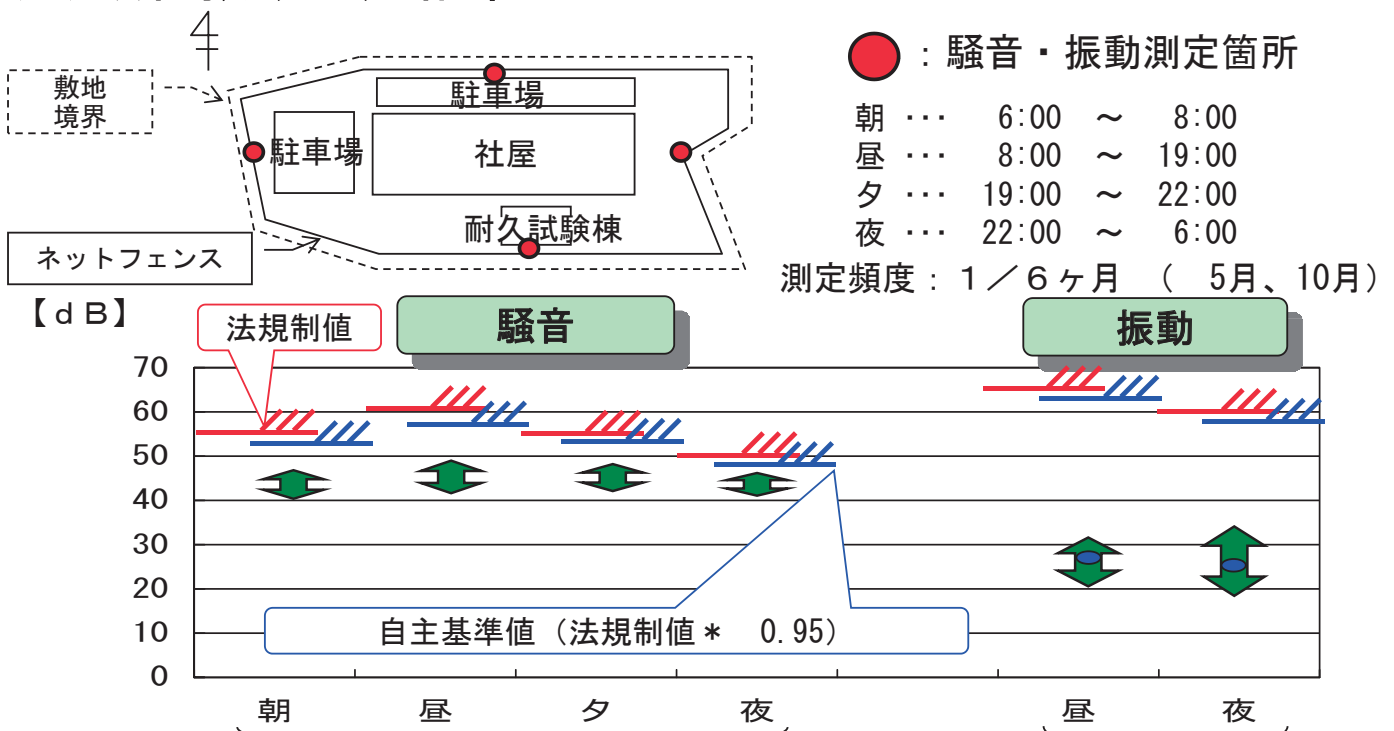
(1) 2017年度の取組項目と実施事項

デンソー エコビジョン	項目	取組み方針	実施事項
【01 究極の 燃費性能】	車社会における消費エネルギー 製品の開発及び生産	低燃費に貢献する製品の 設計及び製造	2輪車用アイドルストップ製品の開発及び生産 低燃費関連製品であるO2センサやハイブリット関連製品の製造
【02 ミニマムCO2 モノづくり】	生産CO2削減	省エネルギーの推進	目標：CO ₂ 排出量 前年16年度比▲4%
【03 低炭素な暮らし ・移動】	業務移動における化石エネルギー 使用の低減	社有車更新・導入時エコカー導入	社有車カラーフィールダーHV導入
【04 エコマテリアル &ローエミッション】	グローバル規模の環境負荷 物質規制への積極的な切り 替え推進	デンソーからの展開事項の順守	デンソー図面指示の順守100%
【05 ミニマム環境 負荷生産】	排出物削減&廃棄物削減 (ゼロエミアドバンス)	・排出物削減の推進 ・リサイクルの質向上 (マテリアルリサイクル化等)	目標：前年16年度比▲0.5% 目標：前年16年度比▲2.5%
【06 環境意識 ・知識・スキル】	環境業務従事者の環境設 備・作業リスクの知識・対応 力強化	環境重要設備異常処置訓練実施 環境教育の実施	環境重要設備 4施設の訓練実施 1回/年 従業員 2H/人 実施
【08 緑・自然 豊かな職場】	緑豊かな工場づくり	工場の緑化	デンソーグループ・グリーンカーテン コンテスト参加 ベストチーム賞受賞
【09 環境社会貢献 アクション】	“グリーン&クリーン”を テーマとしたOne DENSO Actionの推進	ハートフルデー「ゴミゼロ活動」の 継続実施など地域貢献の推進	地域清掃を年間4回の実施 (含む 地元地区のカーブミラー清掃)
【10 環境価値創造 のマネジメント】	環境CSR情報の積極的な発信 と地域社会等との双方向コミュ ニケーションの推進	環境コンプライアンス徹底	環境マネジメントシステムの運用改善 (ISO14001 認定更新) 法順守100%

仕事の各段階で環境負荷低減を目指し、具体的な活動項目と目標を定めて、デンソーグループの一員として環境保護に取り組んでいます。

5-5. 法規順守状況

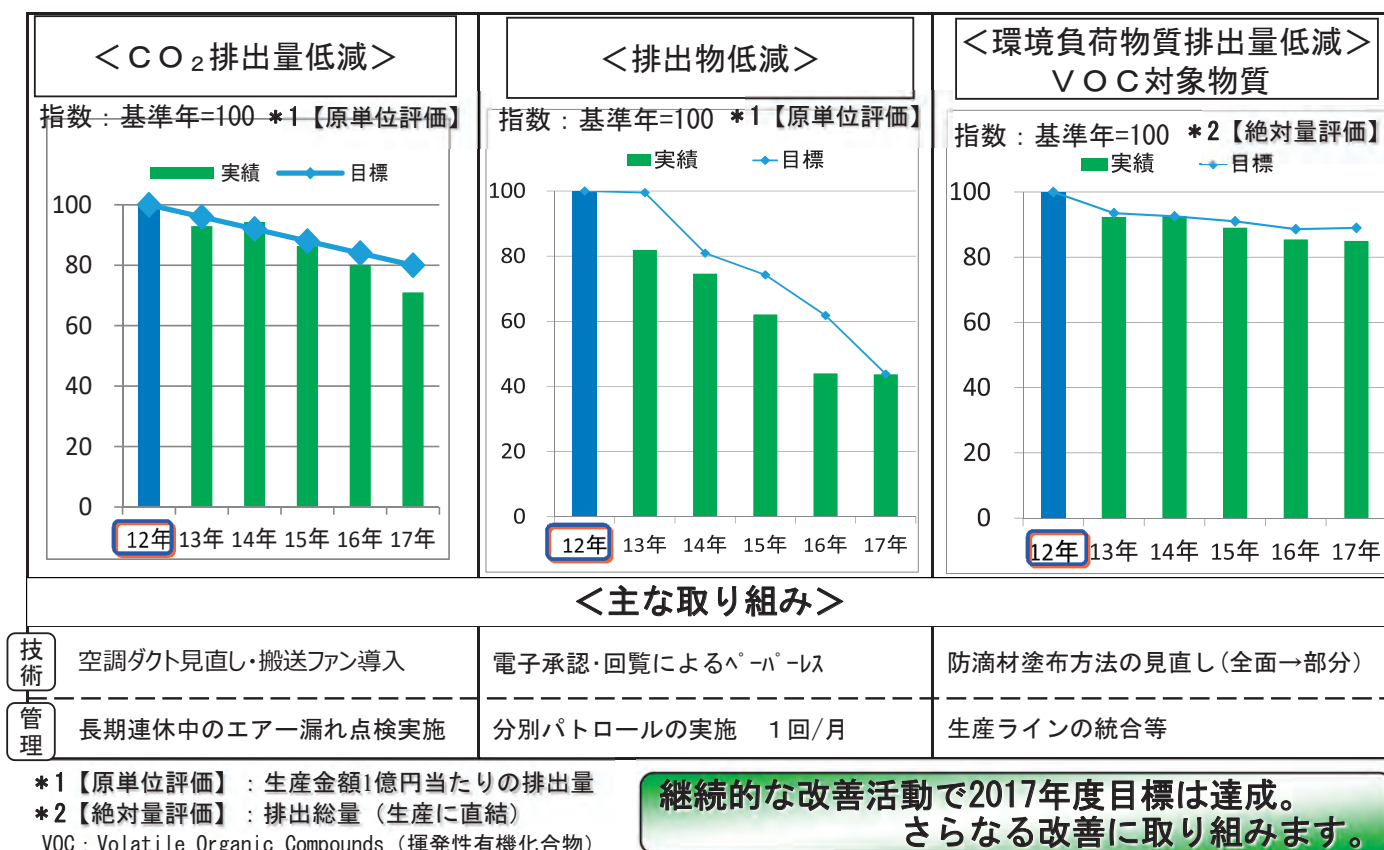
(1) 騒音振動測定結果



騒音、振動とも社内基準値以下の問題の無いレベルです。

5-6. 生産環境負荷削減（基準年～）

（1）生産環境負荷の削減活動状況推移について



（2）排出物のリサイクル向上活動（ゼロエミアドバンス）

リサイクルには一般に、「燃料」として再利用される“サーマルリサイクル”や「原材料」として再利用される“マテリアルリサイクル”があります。当社では分別を細分化する事により、サーマルリサイクルからマテリアルリサイクルへと質の高いリサイクルにシフトさせる「ゼロエミアドバンス」という活動に17年度より取り組んでいます。

部品のビニール袋・紐を細分別しビニールの材料として再利用



結束バンドを細分別しプラスチックの材料へ再利用



効果：12 t/年 サーマルリサイクルからマテリアルリサイクルへシフト
70万円/年の処理費用削減

これからも社内の排出物のリサイクル向上を目指し、分別の細分化に取り組んで参ります。

5-7. 2017年度環境活動状況まとめ

項目	実施事項	目標	2017年度実績	評価
法規制などの順守	水質、騒音振動定期測定届出報告実施	社内基準値以内 漏れなく実施	全て満足	○
	公害及び苦情ゼロ	0件	0件	○
環境負荷の削減	CO ₂ 排出量低減 ・排出量低減	2016年比▲ 4.0%	▲ 11.4%	○
	資源有効利用推進 ・排出量低減	2016年度▲ 0.5%	▲ 23.7%	○
	・ゼロエミアドバンス	2016年度▲ 2.5%	▲ 4.6%	○
	・ゼロエミ継続 (埋立廃棄物低減)	150kg/月以下	50kg/月	○
環境行動に関する地域貢献等	地域活動への積極的な参画 ゴミ0活動への参加	4回/年 開催	4回開催	○
	課単位での環境教育の実施	2 H/人・年以上	2 H	○

各環境目標は達成しておりますが、改善の手を緩めず、今後も「地域からより信頼される企業」を目指し、環境保全活動を推進します。

6. 製品を通じての社会貢献

環境

二輪車・四輪車の燃費を向上し、排出されるCO₂の削減に貢献しています。

<二輪製品>

ACジェネレータ



ECU・イグナイタ



O₂センサ



アイドルストップ用スタータージェネレータ



<四輪製品>

O₂センサ



電池監視ユニット



デジタルEGTSサーキットASSY **NEW**



EGRTS



NOx-SCU



FPC



電池ECU



クランクセンサ



安心・安全

夜間・雨天時の視認性を向上し、運転者の負荷低減・交通事故の未然防止に貢献しています。

<四輪製品>

LDM(LEDヘッドランプ制御装置)



ランプECU



AFS(フロントライトシステム) ECU



レインセンサ



AHS(オートハイビームシステム) ECU



レベリングECU



快適

寒冷時の車室内暖房の熱源として、快適な移動空間を提供しています。

<四輪製品>

クイックヒータ



編集後記

当社では、2012年からCSR（企業の社会的責任）への取組みを報告すべく「CSR報告書」を発行させていただいております。本冊子「CSR報告書2018」では、「CSRマネジメント」「社会性報告」「環境報告」の各分野別に、2017年度の活動を中心に紹介させていただきました。

当社は今後も地域社会の一員として、環境・安全活動並びに社会貢献活動に積極的に取り組んでまいりますので、本報告書をご覧いただいた皆さまから忌憚のないご意見、ご指導を賜れば幸いに存じます。

また、当社はCSR活動についても（株）デンソーと連結経営を行なっております。（株）デンソーの「アニュアルレポート」も併せてご覧下さい。
(<https://www.denso.com/jp/ja/csr/library/annual-report/>)

2018年 9月

発行者 **デンソートリム株式会社**
〒510-1222 三重県三重郡菰野町大強原赤坂2460
発行日 2018年 10月18日
お問合せ先 デンソートリム株式会社 経営企画部総務室
TEL 059-391-0011 FAX 059-391-0050



<http://www.densotrim.co.jp/>